

# 1年だより



# ぐんぐん

津島市立高台寺小学校 令和2年5月13日 音読号

## 音読の宿題について

本校では、毎日の宿題の一つに「音読」の学習を取り入れています。

**一年生は、耳で聞いた音を覚えて声に出すことから始めます。お家の人が読んで、お子さんに聞かせてください。教科書の文字を見ながら聞くことによって、文字を読むことができるようになります。**ゆっくりでもいいからと一文字ずつ拾い読みをさせるより、**リズムのよい文を声に出して楽しむことで音読が好きになります。**暗唱できてしまうくらい、音読に親しめるとよいです。

また、音読が「読みの力」につながるよう、そして、「言葉の力」につながるよう、「音読カード」を工夫しています。ぜひ、サインをするときに、お子さんと国語の教科書を通してやりとりをしてください。

### ○ 読みの力を育む声かけ

- ・ なるほど。いいねえ。
- ・ へえ。どうして、その本文を選んだの？
- ・ お母さんはこんなふうに読むよ。
- ・ お父さんはこの本文が心に残ったよ。
- ・ この絵から、こんなことを見つけたよ。 など

### ○ 言葉の力を育む声かけ

- ・ よく、見つけたね。
- ・ こんな言葉も知っているんだね。
- ・ こんな言葉もあるよ。
- ・ 一緒に調べようか。 など

### ☆ 音読カードの記入について

読んだ回数をお子さんが記入します。○や数字だけでなく、お子さんが楽しく取り組めるよう、イラストやハンコ、シールでもよいです。

おんどく かあと

うたにあわせて あいうえお

ひにち	よんだ	こえ	くちの	「あ」「い」「う」「え」「お」から	はじまる	おうちの
かあと	かいですう	・あかるい ・おおきい	かたち	ことばを	あつめよう。	ひとの さいん
(れい)	〇〇			あ	ありがとう	
5/14	2	○	○	あ	あくび	
5/14				あ		
5/15				い		

おうちのひとにほめてもらったら☆をかこう。

お家の人のサインをお願いします。ハンコ、お名前、イラストでもよいです。お子さまのはげみとなるとよいです。

記入例を参考にしてください。お子さんの言葉をお家の人がうすく書いてあげて、なぞらせることから始めるのもよいです。無理のないように取り組ませてください。



お家の人へ  
 ・教科書の写真の子の口元をよく見て、口を正しい形に開けて、一文字一文字しっかりと動かして音読ができるようになることが目標です。  
 ・お子さんの口元を、みてあげてください。